

令和 5(2023)年度前期 学生を対象とした授業評価アンケート結果

1. 概要

授業内容の改善により本学全体の教育の質の向上を図る目的で、学生を対象とした授業評価アンケートを実施した。対象科目は令和 5 年度前期に開講した科目のうち、実習科目を除いた 50 科目 である。

2. 実施方法

1) 学生を対象とした 授業評価アンケート <別紙 1>

(1) 実施日時

各科目の授業最終回

(2) 内容

- ① 学生自身の取り組み（授業に臨む姿勢 や態度 、 自己学習、 授業を受けるマナーなど） 4 項目
- ② 授業の内容（量、難易度、満足感など） 6 項目
- ③ 授業の技法（教員の話し方、教材 や板書の使い方、 資料 の活用 など） 6 項目
- ④ 総合評価（教員の熱意、到達目標の達成具合、授業に対する満足感など） 4 項目
- ⑤ この授業を履修してよかった点とその理由（自由記述）
- ⑥ この授業を履修して改善してほしい点とその理由（自由記述）

※①～④については 4 段階評定（ 4: はい、1: いいえ、その中間に 2 と 3 を設ける）で回答を求めた。

点数が高い方が評価も高い。 <別紙 2>

※実施にあたり、アンケートの目的、結果は統計処理により個人の匿名性が保たれること、答えたくない内容には答えなくてもよいことを説明し、アンケートへの回答をもってこれらの内容に同意したものと判断した。 また一部に中傷ともとれる内容の記載が過去に見られたことから、教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意した書き方をしようアンケート冒頭に説明を加えた。

(3) アンケートの配布・回答・回収は Google Forms で行った。

2) 授業評価アンケートに対する担当教員からの回答

(1) 実施方法

集計したアンケート結果と自由記述の内容を科目担当の教員に配布し、下記の内容の回答を依頼した。 <別紙 3>

(2) 回答内容

- ① 学生に対する回答（改善策） <別紙 4>
- ② FD 委員会に対する意見（受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等）

※①について、大学ホームページで情報公開することで学生にフィードバックする。

【 年度 授業評価アンケート

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。
 学生の皆さんからのご意見を取り入れるため、ご協力をお願いします。
 なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

<<お願い>>

- * 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。
- * このアンケートは、皆さんの意見を反映させることにより授業をより良いものに行っています。
 教員に対する誹謗中傷や公序良俗に反する内容にならないよう注意してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。【科目名： _____】

1. 学生自身の取り組み	はい		いいえ	
1)意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2)授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3)学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4)授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか。	4	3	2	1
2. 授業の内容について				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感がありましたか	4	3	2	1
3. 授業の技法について				
1)教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2)教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3)授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4)課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5)発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6)教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
4. 総合評価				
1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったですか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

5. この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

--

6. この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

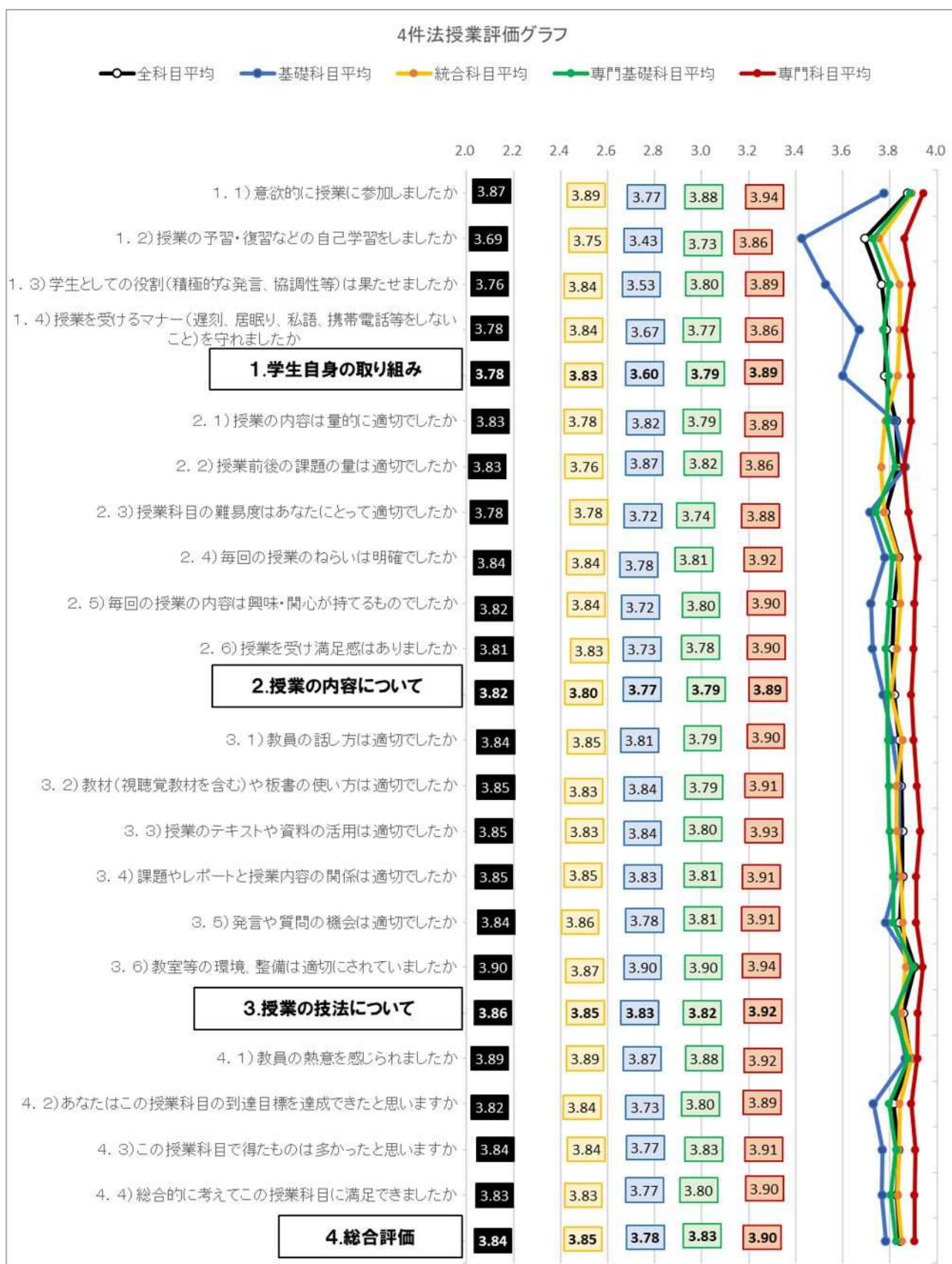
--

ご協力ありがとうございました。

令和 5(2023)年度前期 授業評価アンケートまとめ

授業評価対象科目数：50 科目

基礎科目：13 専門基礎科目：13 専門科目：15 統合科目：9



令和 ()年度前期 授業改善報告書

授業科目名：	科目責任者または記入教員氏名：
(FD 委員会記入欄) 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
1. 学生に対する回答 (改善策) (受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただきます。)	
2. 受講している学生の状況や課題等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等 (FD 委員会宛のご意見)	

令和 年 月 日 () までにご返送願います。

令和 5(2023)年度前期 学生を対象とした授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：ケア・スピリット論 I	科目責任者または記入教員氏名：清水 哲郎
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>項目別の評価については、基礎科目平均と比べて高いのは「教員の熱意」くらいで、他は概して低目でした。とくに目立ったのは「授業の難易度」で、これは自由記述で、「よかった点」「今後改善して欲しい点」の双方に「難しかった」という意見が多くありました。多分、論理や科学的知識に関わるところを前半で数コマ使ってやるところが評価に響いているのでしょう。ここは「難しい」と感じた学生が多かっただろうと思います。事柄が複雑で難しいのではなく、いつもすらすら考えていることを省みて「どういうこと？」と考えなければならぬ難しさがあります。しかし、論理的に考えること、自分が考えていることを振り返って、どういう筋道で考えているのかを理解しようとするこのためには、ここは避けられないのです。</p> <p>現場の医師や看護師さんには「ネコ本 1 章を読んだら、少し飛ばして 6 章から見ると、楽ですよ」と話しますが、皆様にはケア・スピリット論のみならず、他の科学的思考を進める力を養うためにも、ここは通っていただかないとなりません。もちろん、分かるように提示する努力が足りないことは、評価の通りで、今後も改善の努力をします。</p>	

授業科目名：生涯発達論	科目責任者または記入教員氏名：濱中喜代
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。回収率が 92%と高く、学生としての基本的な姿勢があって素晴らしいと感じました。また全般に全体の評価より高い評価で安心しました。1 の学生自身の取り組みが低い結果でしたが、学修課題に対して丁寧に学修できていたと思っています。「乳児期から老年期までの全ての期間の発達が知れて良かった」「最初の課題で自分のことに結びつけて書かせるのがいいと思った」「国試対策の問題に触れられたことが良かった」「資料や動画が活用されていてわかりやすかった」との意見が多くありました。また「教員の熱意を感じられましたか」「この授業科目で得たものは多かったと思いますか」は 3.94 と 3.92 と高値であり、教員としてやりがいを感じました。改善してほしいことには「事前課題の答えが欲しい」「文字が小さいことがあった」「GW を増やしてほしい」がありました。事前課題に関しては授業で重要な点は解説していましたが不十分な点がなかったか確認し、さらに解りやすくなるように努めていきます。あとの 2 点についても工夫したいと思います。今後も学修の主体者として前向きに取り組んでください。</p>	

授業科目名：対人コミュニケーション	科目責任者または記入教員氏名：岡田実
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>疾患の特性、疾患の転機、病状の変化など、同一の患者さんでも各フェーズでコミュニケーションの「在り方」や「とり方」がダイナミックに、時に微妙に変化することが必要であることに気づいてもらえたようです</p>	

授業科目名：看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目
<p>看護学の最初の科目となることを意識して、看護の歴史をふまえ、なぜナイチンゲールの看護が現在まで語られるのかをグループワークを通して展開したことを評価してもらえた。</p> <p>授業中に、生徒に教科書の内容などを音読させることに否定的な意見があったが、看護学で用いられる用語が難解であること、学生の読書習慣が不足していることから共有して学ぶようにした。後期からは、黙読も取り入れ読解力の強化につなげていきたい。</p>	

授業科目名：基礎看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目
<p>看護学の基盤となる援助技術について知識・技術を修得する授業であった。看護技術を他社に実施することを意識して行うよう指導してきた。この点については今後も継続してさらに発展できるように後期の授業につなげていきたい。</p> <p>ただ、演習時の頭髪の色についてのコメントが目立った。実習室での演習は、臨床での場面を想定して実施することを今後も説明していく。学生には、対象者に与える印象を考えて身だしなみや発言してもらいたい。</p>	

授業科目名：形態機能学Ⅱ（生理学）	科目責任者または記入教員氏名：三浦靖彦
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目
<p>膨大な範囲（量）の授業のため、どうしても、詰込みになってしまいますが、受講生の皆様に、少しでも興味を持ってもらえるよう、また、将来の役に立つようにと思い、準備しましたが、肯定的な評価をいただき、安堵しております。改善点として、講義の際の音量及び、スライドの見やすさ（字の大きさ）について、ご指摘をいただきましたので、後期の授業から、マイク音量には今まで以上に留意すること、スライドについては、PDF にして、クラスルームに送信し、手元でも見るようにしてみます。</p>	

授業科目名：情報リテラシー	科目責任者または記入教員氏名：大井慈郎
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>まず、数多くの学生が、自由回答の欄に授業に対する好意的なメッセージを書いたこと、素直にうれしく思います。ありがとうございます。みなさんもしっかりと授業に取り組んでくれていたと思います。</p> <p>パソコンについては、大学の設備の問題ですが、改善の要望はこちらからも出しておきたいと思います。</p>	

授業科目名：社会と福祉（1 年生）	科目責任者または記入教員氏名：上田耕介
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>この講義が、私にとって本学での初講義になりました。全項目について、ほぼ平均ないしそれを超える高評価をしてもらいました。</p> <p>「質問回答コーナーが楽しかった」という声がたくさんありました。このコーナーの準備にはかなりの時間がかかっているのでもううれしい反応です。ただし、このコーナーの時間が長すぎるといった意見もありました。もう少し簡潔に、かつ、本編の授業内容と関わらせるよう、工夫する余地がありそうです。</p> <p>総じて高評価の中で、評価が低かったのは、学生自身の取り組みの項目です。これと関連して、「小テストを取り入れるとよいのでは」とか、「QR コードを利用して、講義中に即席で意識調査をしてみると面白かった」という趣旨の意見がありました。こうした意見を参考に、参加感や達成感を得られるやり方を考えてみます。</p>	

授業科目名：人間と心理	科目責任者または記入教員氏名：青山慶
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>①「後ろの座席から動画の資料が見づらい」という意見がありました。適宜ブラインドを降ろすなどの対応を指示します。②資料のカラー印刷の希望が例年ありますが、これは難しいのではないかと思います。③「授業内容について議論する機会が欲しい」という要望がありましたので、適宜ディスカッションの時間を設けます。④「感想用紙の質問への回答コーナー」の要望がありました。今年度も一部取り上げましたが、今後もできる限り取り上げて回答するよう改善いたします。</p>	

授業科目名： 看護の基礎物理	科目責任者または記入教員氏名： 川崎 敏
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>物理が特に苦手という学生を対象にした講義です。物理学の楽しさと重要性を伝えることを第一の目的として、数学は使わない、概念を言葉で説明する、学生同士で話し合う時間を多く作る、ということを中心に心がけました。自由回答をみますと目的はある程度達せられていると感じました。一方、声が聞こえなかったという回答が複数ありました。今後注意いたします。ただ、聞こえないとか字が見えにくいとか、あるいは解らないとかそういうときはすぐに言うようにしてください。黙っていても自分が損するだけです。社会に出たら自分が損するどころか患者さんにも悪影響が及ぶ、ということを理解してください。</p>	

授業科目名： 看護の基礎数理	科目責任者または記入教員氏名： 川崎 敏
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>講義の内容、進め方についての自由回答はほとんど肯定的な意見でした。この方向で改良を加えながらさらに良いものにしていきたいと思えます。この講義の受講者は“選ばれた”30名ほどでしたが、他の選ばれなかった学生でも講義で行った濃度計算や単位変換などわからない人が多くいるはず。今後の講義や実習において、そういう友人たちにはどうか積極的に教えてくれればと思います。</p>	

授業科目名：看護の基礎生物	科目責任者または記入教員氏名： 竹原 明秀
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>「学生自身の取り組み」に関して、自己学習（予習や授業での発言等）の評価がやや低いという結果がありました。授業ではプリントの使用であり、教科書使用に対して説明が不十分であったことに起因すると思われ。また、高校での生物に比べて内容の深化と専門用語の多出は理解に苦しめられる結果になります。一方的な講義になってしまった点は反省する点ですが、講義すべき内容が多く、時間的な余裕がなかったのも事実です。重要である項目を明確にし、講義内容の精査を考えていきます。</p>	

授業科目名：環境生態学	科目責任者または記入教員氏名： 竹原 明秀
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>1. 学生に対する回答（改善策）</p> <p>（受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただいております。）</p> <p>「学生自身の取り組み」に関して、授業評価が低かったのは、教科書を使用せず、プリントを使用しており、授業内容が複雑で多様であるために、授業の流れ、自己学習（予習や授業での発言等）が困難であったと考えられます。また、看護学生にとって生物の生態や環境の講義内容は直接役立つ事柄が少なく、不用と思われた場合もあるかと思われます。環境問題は様々な場面でも解決が求められることから、看護と関連する部分を増やし、人間と環境の関係についての内容も増やして行く予定です。</p>	

授業科目名：日本国憲法	科目責任者または記入教員氏名：菊地 洋
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>今年度の受講生は毎回の問いかけに積極的に受け答えをしていただき、講義を担当した私としても楽しいひと時でした。今期から Classroom を利用して提出されたレポートのコメントをみることができるようにして、事後のフォローも心掛けています。まだご覧になっていない方は、確認してみてくださいね。</p> <p>皆さんは、医療従事者として国民の社会保障の一端を担う職業に就きます。人と接する仕事ゆえに、人権を中心に、社会全体で人権をどのように保障すべきものか、国の仕組みをどうなのかなどをみんなで考える講義を展開しました。コロナ感染が落ち着いたばかりで、グループ学習は1回しかできませんでしたが、次期は2～3回入れた講義へ徐々に戻していきたいです。</p> <p>チョコちゃん以外のキャラがありましたら、教えてください（笑）次回以降、お友達を増やしてみたいと思います。この講義がきっかけになり、社会問題にも関心をもっていただけると、担当教員としてうれしいかぎりです。</p>	

授業科目名：看護の基礎化学	科目責任者または記入教員氏名：川崎 雅志
(FD 委員会記入欄) 1 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>高等学校で履修している学生もおり、授業内容をどの程度のレベルにするか、悩ましいところでした。</p> <p>「生化学」と関連する内容もあり、連動性を持たせながら、授業組み立てをしました。</p> <p>期末試験での解答状況は、これまでと同程度でした。</p>	

授業科目名：生化学	科目責任者または記入教員氏名：川崎 雅志
(FD 委員会記入欄)	1 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目
<p>8 コマという限られた時間の中で必要な内容を授業することに苦心しているところがあります。どうしても分量が多くなってしまったため、自学自習を重ねてほしいと考えています。</p> <p>期末試験での解答状況は、例年と同程度でした。</p>	

授業科目名：家族とジェンダー	科目責任者または記入教員氏名：上田耕介
(FD 委員会記入欄)	2 年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目
<p>皆さんの前で授業をするのは初めてでした。全項目に渡って、概ね平均かそれ以上の評価をもらい、一安心しています。聞いたことのない話を聞けた、いろんな質問に答えてもらって良かった、といった肯定的な感想がたくさんありました。</p> <p>一方で、「質問への回答コーナー」の時間が長過ぎるので、それを短縮して講義内容を増やしてほしいという要望や、講義内容を看護にどう活かすべきか、という疑問がありました。回答コーナーは、他の授業でも好評である一方で、長すぎるという声もありました。もう少し簡潔に、授業の本編と関係づけるよう、工夫したいと思います。看護との関係については、説明が十分でなかったかもしれません。</p> <p>そもそも一般教養教育は、人間として、大人として、有権者としての幅広い教養を身につけるきっかけを得るものです。一般教養のない高等教育はあり得ません。同時に、一般教養教育は、医療者として患者さんの置かれた世界を知ることにつながります。患者さんにとって家族は、心理的に重要な存在ですし、インフォーマルケアの担い手でもあります。その家族について学ぶことは、患者さんにとって適切なケアとは何かを考えることにつながっていきます。</p>	

授業科目名：臨床薬理学	科目責任者または記入教員氏名：三浦靖彦
(FD 委員会記入欄)	2 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目
<p>膨大な範囲（量）の授業のため、どうしても、詰込みになってしまいますが、受講生の皆様に、少しでも興味を持ってもらえるよう、また、将来の役に立つようにと思い、準備しましたが、肯定的な評価をいただき、安堵しております。</p> <p>他の学年からの意見として、講義の際の音量及び、スライドの見やすさ（字の大きさ）について、ご指摘をいただきましたので、後期の授業から、マイク音量には今まで以上に留意すること、スライドについては、PDF にして、クラスルームに送信し、手元でも見るようにして見ます。</p>	

授業科目名：臨床栄養学	科目責任者または記入教員氏名：山崎久美子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>アンケートへの記入をありがとうございます。</p> <p>意欲的に授業に参加し、授業の進行にご協力していただきありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業のねらいを明確にし、興味・関心が持てる内容にしていきます。そのために、教材(視聴覚教材を含む)や板書の活用法の検討、テキストや資料の内容を検討し、準備します。 ・この授業科目を履修してよかったと思う点として、「自分の食事行動を見直せたこと」、「日常生活で栄養について意識しながら過ごすことが増えた」等、お伝えいただき、うれしいです。ご自身の食生活に引き当てて「栄養」を考え、これからの学生生活、その後の人生にも活かしていただきたいと思ひ、お話していたので、受け取っていただけて良かったです。 ・授業で、嚥下調整食や低カロリー甘味料、減塩食品、とろみ剤等をご紹介します。嚥下調整食は、主に在宅でご活用いただいている商品です。サンプル提示や試食試飲等は、今後も使用の意図を明確にして紹介したいと思います。 	

授業科目名：疾病治療論Ⅱ(外科学)	科目責任者または記入教員氏名：高谷 俊一
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>非常に 熱心に 授業を聞いてくれているので こちらも張り合いがあります。</p> <p>医学の病態など難しいこと(医学生と同等な内容も多くあり)を教えなければいけないのですが 理解が大変かと思いますが なるたけわかりやすく心がけています。</p>	

授業科目名：疾病治療論Ⅳ 小児	科目責任者または記入教員氏名：菅野啓一
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ほとんどの方が、しっかり講義を聞いてくれたと思います。 ✓ 学習範囲と講義時間のバランスもあり、内容の把握と今後国家試験で問われるような内容の理解に乖離があったとも思います。 ✓ 講義内容と問われるであろう知識の差を埋めれるような確認事項が必要だと思ひます。 ✓ 講義のスライドを大事ですが、知識の確認のための教科書熟読は必要で、資料は教科書の中のどこが重要かの確認に使用していただきたいと考えています。 <p>講師として、講義資料の見やすさは、考慮が必要だと考えています。</p>	

授業科目名：精神看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：岡田実
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>精神医学の講義は臨床医から講義していただきました。大変有意義なご講義でしたが、皆さんにとっては理解が難しかったかもしれません。興味のある方は、図書館に疾患に関する視聴覚教材を用意しておきましたので視聴してみてください。精神看護では「昨日とは違う今日の病状の変化を捉える」ことを中心に講義しました。統合失調症、うつ病に加えて、境界性人格障害を扱いました。この3つの疾患や病態を捉えることができれば、概ね、他の疾患についても対応可能かもしれない…、と考えています。精神科だけでなく一般科においても役立つと考えています。</p>	

授業科目名：母性看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：江守陽子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>母性看護学は、女性の生物学的側面のみならず、心理・社会・文化的側面を重視しながら、女性の健康をとらえ、支援するための考え方や看護技術を講義しています。</p> <p>とりわけ母性看護援助論では、女性と子どもの周産期に焦点を当てていますが、生涯を通じた性と生殖の健康の維持・増進・疾病予防・次世代育成を目指す看護でもあり、人の人格形成に深くかかわる「セクシュアリティ」や「ジェンダー」を扱っています。また、母性看護学の対象は女、男、子ども、家族、社会を含んでいます。</p> <p>看護師の責務は、看護の対象となる人の人生や健康課題に関心を持ってかかわることです。どうして看護師は母性看護学を学ぶ必要がないなどといえるのでしょうか？</p> <p>全15回の講義の間、自分には全く関係ないことをなぜ学ばなければならないかと憤っていた学生さん、ぜひ、江守の研究室までおいでください。あなたが看護学生として「母性看護援助論」を学ばなければならない理由をきちんと説明させていただきます。</p>	

授業科目名：慢性期看護論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>皆さんが熱心に授業に参加していただいたことが記述内容から理解できました。看護過程の課題が他科目の課題と重なり大変だったことで皆さんの負担になっていたようですので、今後改善していきたいと考えております。このことが「課題の量は適切だったか」「課題やレポートと授業内容の関係は適切だったか」の点数が低かったことに示されていると考えます。</p> <p>また「発言や質問の機会は適切だったか」についても点数が低かったことから、発言の機会が欲しかったのか、それとも教員からの質問が不適切だったのか、検討し改善していきます。</p>	

授業科目名：成人看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>この科目では成人看護学に有用な看護理論を、事例を解説しながら皆さんに分かってもらえるように工夫しました。その意図が皆さんに伝わっていたことを大変喜ばしく思っています。重要な用語をあえて穴埋めにして書き取ってもらったり、最後に重要な内容を試験形式にしたことは好評でしたので、これからも継続していきます。</p> <p>Google forms への回答について、数人の学生さんがスムーズに回答できない状況にあって不便を感じていたようですので、そういった場合の教員の対応を迅速にできるように準備していきます。授業資料の誤字や脱字も改善していきます。</p> <p>皆さんにお願いですが「わかった」「わからない」等の反応があると、授業中も安心して進められるので、よろしくお願いします。</p>	

授業科目名：老年看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：吹田夕起子
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>高齢者疑似体験をとおして高齢者の身体的特徴や気持ちを理解することができた、退院パンフレットも初めて作ったが楽しかったなど、演習を交えた授業で学びがあった意見をたくさんいただきました。</p> <p>改善してほしいこととして、「時間配分」を考えて欲しいという意見が2件ありました。授業の内容によっては、1回で学ぶ量が多かったこともあったため、今後は授業内容を吟味し、時間配分を考慮して教授していきたいと思えます。</p>	

授業科目名：小児看護援助論	科目責任者または記入教員氏名：下野 純平
(FD 委員会記入欄) 2年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。多くの方が「子どもの特徴・発達段階を学ぶことができた」「子どもとの関わり方を学ぶことができた」というコメントを記載してくださり、大変うれしく思っております。また、「小児の難しさを知ることができた」「今後、より良い看護過程を展開していきたい」というコメントもあり、「この授業科目で得たものは多かったと思えますか」が4.00だったことから、皆さんが子どもや家族に興味をもっただけだと捉え、今後も皆さんに小児看護を実践したいと思っていただけるような授業を展開できるよう努めていきます。</p> <p>「課題を他の科目とずらしてほしい」「『テストに出す』とアナウンスする箇所が多い」「分量が多い」との意見があり、これについては次年度への反省材料としていきたいと思えます。しかし、全国の多くの看護学生が、皆さんが多いと感じた授業内容を学修し、課題量に取り組んでおり、看護師になるために必要なことであることもご理解ください。</p>	

授業科目名：社会と福祉（3年生）	科目責任者または記入教員氏名：上田耕介
(FD委員会記入欄) 3年生 基礎科目 ・専門基礎科目・専門科目・統合科目	
<p>皆さんに講義するのは初めてでしたが、ほぼ平均ないしそれを超える高評価をしてもらい、楽しかったという感想も多く出され、一安心です。これを機に社会のことに関心を抱いてもらえたら幸いです。</p> <p>レポート課題の出し方について、「最初の説明ではテーマについては社会問題であれば何でもいいと言っていたが、本日の最後の授業でもっと詳しく言われ、ダメな例などを最初出されていなかったのに出されたため、書いていたものを全部やり直すしかないなど、不満に感じました」とありました。</p> <p>最後の時間に説明した「ダメな例」は文章の構成の問題であって、レポートのテーマに関するものではありません。これについては、誤解を招いた私の説明の順番と、説明の仕方にも問題がありました。改善したいと思います。</p>	

授業科目名：精神看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：岡田実
(FD委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>精神看護のアセスメントは、患者さんのライフサイクルのどこにどんな出来事があり、それにどのように対応してきたのか、対応できなかったのか…という内容が含まれます。今、目の前にいる患者さんの「来し方」を想像できることが重要です。アセスメントというよりも、「私小説を読む」ことに似ていると思いますが、皆さんはどうお考えですか？</p>	

授業科目名：慢性期看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD委員会記入欄) 3年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>皆さんが熱心に授業に参加していただいたことが記述内容から理解できました。看護過程の課題が他科目の課題と重なり大変だったことで皆さんの負担になっていたようですので、今後改善していきたいと考えております。このことが「課題の量は適切だったか」「課題やレポートと授業内容の関係は適切だったか」の点数が低かったことに示されていると考えます。</p> <p>また「発言や質問の機会は適切だったか」についても点数が低かったことから、発言の機会が欲しかったのか、それとも教員からの質問が不適切だったのか、検討し改善していきます。</p>	

授業科目名：がん看護論	科目責任者または記入教員氏名：石井 真紀子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>「分かりやく」を大事にしながら授業を準備し進めましたが、それに対して良い評価が得られて嬉しく思います。動画（ドラマ）は好評でしたが全編を見ていただけなくて申しわけございませんでした。がん患者と家族を理解するのに分かりやすい資料だったと確認しました。また、ゲストスピーカー（高橋先生）の講義が好評でしたので継続します。</p> <p>そのゲストスピーカーの先生が、授業中の皆さんの反応が乏しいと気にされていましたが、皆さんの感想を読み授業を理解していただいて良かったと、感想を寄せていただきました。</p>	

授業科目名：小児看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：下野 純平
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。小児看護技術論は、小児看護学領域の准教授 1 名、助教 2 名で授業を展開し、演習も多い科目でした。今回、「意欲的に授業に参加しましたか」「課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか」「教員の熱意を感じられましたか」「この授業科目で得たものは多かったと思いますか」等が 4.00 であり、皆さんが教員の熱意を受け取り、ご自身の学びとしてくださったことを大変うれしく思います。今後も皆さんが「楽しい」と思ってもらえるような授業を展開できるよう努めていきます。</p> <p>ある程度のご理解を示していただきながらではありましたが、「スライドチェンジが速い」「教員の話すスピードが速い」というコメントがありました。これについては、科目責任者自身の課題として、今後、改善できるように努めていきます。</p>	

授業科目名：母性看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：佐藤 恵
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・ 専門科目 ・統合科目	
<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護技術論では看護過程と技術演習を 2 グループに分けて実施しましたが、今年度は日程的にグループ間の偏りがでてしまいました。技術テストまでの日程ができるだけ平等になるよう日程の調整をしていきたいと思っております。 ・教員への質問は随時受け付けております。遠慮せず、研究室をお訪ねください。 ・看護技術は正確・適正な観察をするために身に付けておく必要がある技術です。また、対象者を支援する際の強力なケアの武器にもなります。忘れないように、何度でも DVD 等を見て練習しましょう。 	

授業科目名：ヘルスプロモーション	科目責任者または記入教員氏名：鈴木るり子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>今年度の授業展開は GW を教員の共同体制で展開しました。課題に対して積極的に取り組んでいました。</p> <p>授業評価では、難易度の高さを指摘していますので次年度の改善策として、ヘルスプロモーションの概念や行動戦略の習熟度に差があることから事前課題を出し、自己学習して臨める内容にしたいと考えています。</p>	

授業科目名：災害援助論	科目責任者または記入教員氏名：千島佳也子
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
グループワークの人数について、今後大学職員の方とご相談し対応させていただきます。	

授業科目名：在宅看護学概論	科目責任者または記入教員氏名：大沼 由香
(FD 委員会記入欄) 3 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>学生授業アンケート評価は受講学生 76 名中、回答者数 67 名、回答率 88%でした。総合評価は 3.91 と高評価でした。1.学生自身の取り組みは 3.87 で、最も評価が高かったのは、「意欲的に授業に参加した」3.93 でした。授業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。2.授業内容については 3.88 で、最も評価が高かったのは「毎回のねらいは明確である」3.91 でした。3.授業の技法は 3.91 で、最も評価が高かったのは「教員熱意」3.93 でした。自由記載でも、授業がわかりやすい、在宅看護への関心の高まり等が多く記載され、資料がみやすい、現場の方のお話がきけたのがよかった等が書かれておりました。改善意見はありませんでした。しっかり受講していただきありがとうございました。</p>	

授業科目名：災害看護論	科目責任者または記入教員氏名：千島佳也子
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
グループワークの人数について、今後大学職員の方とご相談し対応させていただきます。	

授業科目名：保健医療福祉行政論	科目責任者または記入教員氏名：齋藤昭彦
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・ 専門基礎科目 ・専門科目・統合科目	
<p>本学での 2 年目の授業でしたので、前年度の経験をふまえて授業を進めました。</p> <p>総合評価結果は、全科目、専門基礎科目とほぼ同程度であり、また、「よかったと思う点」についての記述内容からも「概ね良好」であったと自己評価します。</p> <p>なお、「今後の改善してほしいと思う点」について（カリキュラムに関する以外）は、今後の参考とさせていただきます。</p>	

授業科目名：公衆衛生看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：鈴木るり子
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>授業評価にご協力ありがとうございました。</p> <p>授業に皆さんは真剣に取り組んでいました。</p> <p>授業内容の量を分散したいと考え、前期の時間割を 3 月からスタートしましたが、授業評価で最も評価が低かったのは「授業内容の量の多さ」でした。</p> <p>改善策として次年度は、講義開始前に事前課題を提示し習熟度を高められるよう配慮して行きたいと考えています。</p>	

授業科目名：看護教育論	科目責任者または記入教員氏名：江守陽子
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>看護教育論を選択科目として選び、受講した皆様の聡明さに拍手を送ります。</p> <p>しかしながら、講義に対する改善点、要望等は「特にない」とのことでしたが、授業評価グラフを見る限り、授業前後の自己学習には至らず、授業を受けるマナーの自己評価が低く、こちらが課した授業前後の課題の量は「不適切」との回答が多く、以上を統合して判断すると、本当に意義のある良い講義だったのだろうかと思ってしまう。</p> <p>4 年生の選択科目ですから、教員からの課題を期待せず、もっと自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けるべきではなかったかと、学生自身の姿勢にも課題があるように思います。</p>	

授業科目名：看護管理論	科目責任者または記入教員氏名：伊藤 収
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>看護学部生を対象とした「看護管理論」は、前任校を定年退職して以来、3年ぶりであった。その間の法律等の改正点や「保健師助産師看護師国家試験出題基準」などは、授業前に確認できたが「①履修される4年生のこれまでの3年間の学習内容と矛盾がないか？」が懸念されるため、この点については、本科目を共に担当・支援していただいた本学の先生方に、時には授業内でも確認いただき授業を進めた。</p> <p>また、「②岩手県の実情に即しているか？」も懸念されるため、この点については、非常勤講師の先生に確認いただきながら、授業を進めた。</p> <p>このような授業の進め方は、多くの履修生からは「より理解が進んだ。」といった評価をいただいたが、一部の履修生には、授業進行の「滞り」といった印象を与えた可能性がある。</p> <p>また、PPTについては、本学指定教科書中の「ナイチンゲール」や「リアリティ・ショック」等に関連する記述に補足すべき点があり、科目担当者の著書や研究等をPPTで示した。しかし、それらの補足は上記の「国家試験出題基準」にはないため、4年生の国家試験学習上の妨げとなると考え配布しなかった。今回、PPT資料の配布を希望する方が数名いたため、次年度に向けて検討する必要があると考えている。</p>	

授業科目名：在宅看護技術論	科目責任者または記入教員氏名：越納 美和
(FD 委員会記入欄) 4 年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>2. 学生に対する回答（改善策）</p> <p>（受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただいております。）</p> <p>在宅看護技術論は、授業アンケートからロールプレイや看護過程のグループワークを通して、興味関心や理解を深めることが出来たとの高い評価でした。ありがとうございます。来年度の授業もこれらのアクティブラーニングを取り入れた授業展開を進めたいと思います。</p> <p>改善点として、課題の量と提出期限について意見がありました。4～5月の連休明けまでに15回の授業を展開するため、1週間に2～4コマの授業を行うことになり、課題に追われる感覚が強くなると思います。自己学修が不十分な場合には十分な教育の質を担保できないまま進んでしまいます。効果的な教育を展開するためには、自己学修を適宜確保し、振り返りや内容の吟味に時間を作りたいと考えます。今後は課題の量と内容、提出時期などを検討し、教育内容の効率化と改善に努めます。</p>	

授業科目名：公衆衛生看護管理論	科目責任者または記入教員氏名：大友 美恵
(FD 委員会記入欄) 4年生 基礎科目・専門基礎科目・専門科目・ 統合科目	
<p>3. 学生に対する回答（改善策）</p> <p>（受講した学生に向けて記述をお願いします。こちらは原文のまま公開させていただいております。）</p> <p>全員が意欲的に授業に参加していたことは素晴らしいですね。</p> <p>「課題が多かった」という意見については、授業と演習の授業スケジュールを見直して授業時間内に演習課題が終われるように検討・改善したいと考えています。熱心に授業や演習に取り組んでいたからこそ、課題や全体討議にかかる時間が多く負担に感じられたのだらうと推察しました。</p> <p>中川町の健康教育を学生主体で、全員で行うことが大きな負担だったようですね。本来の授業のねらいに合致する方法を検討して参ります。</p> <p>本学の保健師課程に進む学生の学修カリキュラムについての意見もありましたが、これはこの授業だけではなく、他の授業や実習のとの兼ね合いも考慮し、授業のねらいを明確にして組み立てていくように今後も検討をしていきます。意見を言いやすい環境づくりなどの配慮が足りなかったとのこと指摘にも真摯に向き合い、グループワークの人数や時間配分なども見直したいと考えています。</p>	